

**製品名: セントリオリンウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08656**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	CCP110
別名	CCP110; CEP110; CP110; KIAA0419; Centriolar coiled-coil protein of 110 kDa; Centrosomal protein of 110 kDa; CP110; Cep110
遺伝子 ID	9738.0
SwissProt ID	O43303
免疫原	抗血清はヒト CEP110 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 850-900

**背景**

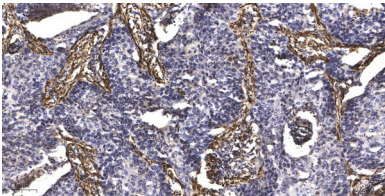
機能: 中心体の複製に必要。CEP97 と連携し、繊毛組み立てプログラムの抑制に関与する。正しい紡錘体形成に必要であり、CALM1

および CETN2 と連携して細胞質分裂およびゲノム安定性の調節に関与する。誘導：細胞周期の G1 期から S 期への移行中にアップレギュレーションされる。S 期に最も高いレベルが観察され、その後レベルは著しく低下する。PTM：CDK によってリン酸化される。サブユニット：CALM1、CETN2、および CEP97 と相互作用する。組織特異性：精巣で高発現する。脾臓、胸腺、前立腺、小腸、結腸、および末梢白血球では中程度のレベルで検出される。機能：中心体の複製に必要。CEP97 と連携し、繊毛組み立てプログラムの抑制に関与する。正しい紡錘体形成に必要であり、CALM1 および CETN2 と連携して細胞質分裂およびゲノム安定性の調節に関与する。誘導：細胞周期の G1 期から S 期への移行期に上昇制御される。S 期に最も高いレベルが観察され、その後は著しく減少する。PTM：CDK によってリン酸化される。サブユニット：CALM1、CETN2、CEP97 と相互作用する。組織特異性：精巣で高発現する。脾臓、胸腺、前立腺、小腸、結腸、末梢白血球では中程度のレベルで検出される。

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト肺扁平上皮癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈（4°Cで一晩）。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用。3、二次抗体を 1:200 に希釈（室温、45 分）。